

## マッサージ機能

### 内蔵

会員 福田武二

コンパクトカメラのフラッシュとかノートパソコンのモデムなど、内蔵機能というのがあります。私の自発動功を手短にご理解頂くために「マッサージ機能内蔵」と言ってみました。気功の一種です。10年ほど前、手引書をたよりに呼吸法に入れこんでいたら飛蚊症になりました。

自己流が悪かったのかと中止し、しばらくしたら蚊は来なくなりませんでした。反省して、気功の先生の一泊講習会に参加、高原

の樹と向かい合ううちに体が返り返ってしばらく動けなくなるという経験をしました。先生が何か仕掛けをしたのだと思いますが、これを手がかりに公園や神社の樹木を相手に彼らとの交流を繰り返し、樹木より岩石の方が良いんだという先生のお供で年に2〜3回、イワクラとか気場とかになじみ、10年経ったら心身の健康法としてがっちり定着、内蔵機能となりました。

いつでも、どこでも好きなようにスイッチオン（当然、電源は不要）。動きは相手として選んだもの（プラスチックなど人工物は不可）とその時のこっちの体調により自由演技的だが、条件毎の再現性は高い。スポーツ選手が受ける運動機能向上のためのマッサージではなく、内臓をとりまく深層筋肉をじっくりもみほぐして行く。

Inner muscle self-treatment  
とひそかに命名し、一人しずつ

に楽しんでいきます。気持ちよく、心もなごみます。目立った成果としては国鉄退職の昭和60年3月に発症した花粉症が消えたらしいことです。平成17年春は漢方薬一過間だけ、18年は（花粉も少なかったが）症状なし、19年春！どうなるか楽しみです。この10年風邪は引いていません。

すこしはレベルアップを、という最近の話題を列挙します。

① photo-healing…対象は現物でなく写真でも良いことが分かり、好ましいお相手のスナップカード（携帯用）を蓄積中です。

② イワクラ学会会員…3年ほど前に発足した歴史研究家の学会に入会。イワクラとは神様の依り代となる岩石等による構造物。起古代の宗教装置。学会会員諸氏が研究成果の中に発表する写真が①の対象として魅力的。

なお、テーマを超古代宗教、土木工学に切り替えるべく、永年お世話になった土木学会は退会しました。

③ アンテナを手のひらから額に変更…対象にいちいち手のひらを向けるといいうのも変な習慣です。やってみたら出来た。第3の目です!!!

健康法の先にエーテル界というのが見えてきているようでもあります。しかしやっぱり「マッサージ機能内蔵」にとどめておくつもりです。エーテル界にも「業界の常識」と同じような雰囲気は漂っています。『良き先達のもとに真摯に修行に励む』というのが最大の前提らしく、『自己流で気ままに・』と、手をだすと蚊ぐらいでは済まないかもしれません。

了